

上砂川町まち・ひと・しごと・創生総合戦略等の策定に係る基本方針

策定の趣旨

上砂川町における今後の人口問題に対応するとともに、住み良い環境を確保し、将来にわたって活力あるまちを維持するために、まち・ひと・しごと創生法に基づき策定された国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示した「上砂川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）及び、これを踏まえた今後 5 か年の目標や施策の基本方向、具体的な施策をまとめた「上砂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定する。

策定の視点

○人口ビジョン

- (1) 対象期間は、国の長期ビジョンの期間（平成 72(2060 年)年）が基本となるが、地域の実情に応じて期間を設定することも可能なことから、国立社会保障・人口問題研究所の推計期間である 2040 年とする。
- (2) 上砂川町における人口の現状分析を行い、今後の人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察を示す。
- (3) 現状分析における課題を踏まえ、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示す。
- (4) 総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎となるものとする。

○総合戦略

- (1) 対象期間は、国の総合戦略の期間（平成 27～31 年度）と同じものとする。
- (2) 国の総合戦略で示された「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策 5 原則」を踏まえる。
 - ・ 自立性：一過性の施策ではなく、地域の自立につながる
 - ・ 将来性：地方が主体となった夢を持って前向きに取り組む
 - ・ 地域性：地域の実情・特色を踏まえる
 - ・ 直接性：まち・ひと・しごと創生に直結する
 - ・ 結果重視：目指すべき成果が具体的な数値で、事後検証できる
- (3) 国の総合戦略に掲げられた以下 4 つの基本目標を勘案し、基本目標、基本的方向及び具体的な施策を検討する。
 - ・ 地方における安定した雇用を創出する
 - ・ 地方への新しいひとの流れをつくる
 - ・ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
- (4) 人口ビジョンを踏まえ、取り組むべき政策を定め、政策ごとに今後 5 か年の基本目標（実現すべき成果に係る数値目標）を示す。
- (5) 基本目標の達成に向けて、政策を推進していく基本的方向を示す。
- (6) 基本的方向に沿った具体的な施策及びその成果を測る重要業績評価指標（KPI）を示す。
- (7) PDCA サイクルを導入し、KPI の達成度を検証し、改善することが可能な仕組みとする。

※重要業績評価指標(KPI)：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

※PDCA サイクル：Plan-Do-Check-Action の略称

Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Act(改善)の 4 つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。